

改訂 被服整理学

B5版 1,200円(税込)
(本体価格1,090円+税)

改訂 被服整理学



一般社団法人 日本衣料管理協会

衣服は必ず洗うものであり、洗濯や保管方法などの知識、洗濯後も性能を維持し品質問題を防ぐためには、生産者・消費者ともに被服整理学の知識が必要となる。本書は衣服の汚れ、洗濯から仕上げ、取扱い表示、廃棄とリサイクルにいたるまで、図版やデータを使用し、わかりやすくまとめている。

衣料管理士科目：被服整理学
(協会科目名)

目次

第1章 衣服の汚れ

- 洗濯の対象となる汚れ
 - 1.1 汚れの分類
 - 1.2 性状からみた汚れの種類
 - 1.3 汚れの付着
- 汚れによる衣服地の性能低下

第2章 洗濯用水と衣料用洗剤

- 洗濯用水
- 洗剤
 - 2.1 洗剤の変遷
 - 2.2 洗剤の種類
 - 2.3 洗剤の表示
 - 2.4 洗剤と環境問題

第3章 洗剤の成分と洗浄作用

- 界面活性剤
- 界面活性剤水溶液の性質
 - 2.1 表面張力と界面張力
 - 2.2 界面活性剤のミセル形成
 - 2.3 界面活性剤の水に対する溶解性
- 界面活性剤の種類
 - 3.1 陰イオン界面活性剤
 - 3.2 非イオン界面活性剤
 - 3.3 陽イオン界面活性剤
 - 3.4 両性界面活性剤
- 配合剤の種類と洗浄作用
 - 4.1 ビルダマー
 - 4.2 その他の添加剤
- 汚れ除去のメカニズム
 - 5.1 ぬれ
 - 5.2 油性汚れの除去
 - 5.3 固体粒子汚れの除去

第4章 洗濯機

- 洗濯における機械力の歴史
- 世界の洗濯機の現状
 - 2.1 攪拌式洗濯機
 - 2.2 渦巻き式洗濯機
 - 2.3 ドラム式洗濯機
- 日本における洗濯機の変遷と最近の動向
 - 3.1 洗濯機の普及
 - 3.2 構造・機能の進展

第5章 家庭洗濯

- 家庭洗濯による衣服の機能低下
- 洗濯の手順と方法
 - 2.1 点検・仕分け
 - 2.2 予洗・予浸
 - 2.3 本洗い
 - 2.4 すすぎ
 - 2.5 脱水
 - 2.6 乾燥

第6章 洗浄力の試験法と評価

- 洗濯のモデル化
 - 1.1 被洗物
 - 1.2 標準洗剤
 - 1.3 標準洗濯機
 - 1.4 洗濯用水
 - 1.5 洗濯条件
- 汚染度の表示法
 - 2.1 表面反射率に基づく表示法
 - 2.2 化学的な分析法に基づく表示法
- 洗浄力の評価方法
 - 3.1 視感判定による方法
 - 3.2 表面反射率による方法
 - 3.3 汚れ成分の定量による方法
- 規格化されている洗浄力試験方法
 - 4.1 実生活に近い方法での試験
 - 4.2 襟垢布を用いる洗浄力評価方法
 - 4.3 湿式人工汚染布を用いる洗浄力評価方法

第7章 機械作用の試験法と評価

- 機械作用
- 洗濯時の機械作用を評価する試験方法
- 洗濯機の洗浄性能評価法の試み

第8章 漂白と増白

- 漂白
 - 1.1 漂白の原理
 - 1.2 漂白剤の種類
 - 1.3 漂白剤の使用法
- 増白
 - 2.1 増白の原理
 - 2.2 蛍光増白剤の特徴

第9章 しみ抜き

- しみ抜きの方法
- しみ抜きの用具
- しみ抜き剤
- 各種しみ抜き法

第10章 糊つけと仕上げ

- 糊つけ
 - 1.1 糊つけの効果
 - 1.2 市販糊料の種類と特徴
 - 1.3 糊つけの方法
- 柔軟仕上げ
 - 2.1 柔軟仕上げと帯電防止の原理
 - 2.2 柔軟剤・帯電防止剤の種類と特徴
 - 2.3 柔軟剤の使い方
- アイロン仕上げ
 - 3.1 アイロン仕上げに影響する要因
 - 3.2 アイロンの種類

第11章 衣服の保管

- 保管中の衣服の損傷
- 虫害と防虫
 - 2.1 虫害
 - 2.2 防虫法
- 防かびと抗菌
 - 3.1 微生物の繁殖と繊維の損傷
 - 3.2 微生物の繁殖とその防止
- 衣服の保管
 - 4.1 清潔
 - 4.2 整形
 - 4.3 乾燥
 - 4.4 虫干し

第12章 商業洗濯

- ドライクリーニング
 - 1.1 ドライクリーニング用溶剤と洗剤
 - 1.2 ドライクリーニングの工程
- ランドリー
- ウェットクリーニング
- クリーニング事故の内容
- ドライクリーニングと環境問題

第13章 取扱い表示

- 繊維製品の取扱い表示
- JIS L 0217に基づく表示
- JIS L 0001に基づく表示
- JIS L 0001とL 0217との違い
- JIS L 0001とL 0217との対応表の解説
 - 5.1 記号の覚え方
 - 5.2 L 0001とL 0217との対応関係

第14章 衣服の廃棄とリサイクル

- 死蔵衣服
- ごみとしての処分
- 再生利用による処分
 - 3.1 繊維製品の再資源化
 - 3.2 企業におけるリサイクルの取り組み

索引